

修了式・離任式

3月24日（水）、早いもので令和2年度も生徒登校の最終日となりました。教職員においては、年度末業務がまだまだありますが、授業日としては一段落となりました。教職員の皆様には、今年度はコロナ禍の中、通常の学校業務に加え、感染防止対策に大変神経を遣っていただき大変お疲れのことと思います。1年間、ありがとうございます。心から感謝申し上げます。

修了式では、春休みを自分自身のこの一年を振り返る時間として欲しい旨を伝えました。

高校入学前、1年生の時に思い描いていた自分の夢や希望を叶えるため、保護者や先生方との約束を自分との約束をしっかりと守れるよう、自らを律する次年度にして欲しいこと。2週間の年度末・年度始めの休業となるが、感染防止対策を取って、元気に4月8日（木）の始業式に登校して欲しいこと。加えて、始業日には新入生が入学してくるが、温かく迎えて欲しいことについてお話させていただきました。

修了式後、離任式が本校体育館でおこなわれました。

3月は別れの時期、今年度も本校を退任される教職員を私の方から紹介させていただきました。

管理職	山口 勉	教頭	士別翔雲高等学校
教育職	松井 伸一	先生	札幌平岡高等学校
〃	尾形 顕子	実習助手	札幌平岡高等学校
事務職	藤田 茂之	主任主事	南幌養護学校

以上の4名の教職員が新天地での勤務となります。なお、壇上には上がっていませんが、2名の教職員が再任用職員として来年度も本校で勤務いただきます。

教育職	一戸寿恵	養護教諭
事務職	水口昌裕	事務長

転出される職員の方々には、本校在職中勤務でのご活躍に感謝申し上げますとともに、それぞれの勤務地で心身共にご自愛されて、さらに活躍されますよう祈念致します。

紹介の後、離任される職員から、生徒達に向け素晴らしいメッセージをいただき、生徒会執行部から感謝を込めた花束を手渡しされました。

職務や勤務年数の違いはありますが、生徒達のためにご尽力をいただき重ねて敬意と感謝を表します。

入学者選抜

3月24日（水）、入学者選抜第2次募集の受付が16：30に終了しました。多数の希望者を予定していましたが、残念ながら出願はありませんでした。

4月8日（木）の入学生は、転入生がいなければ40名となります。夢や希望を持って新入生が入学してきますので、教職員と全校生徒一同、心から歓迎致します。

3月30日（火）に、入学予定者のオリエンテーションが開催されました。高校生活の第一歩をスムーズにできるよう、教職員全員で全力で支援していきますので、不安な部分があれば問い合わせください。

交通安全対策会議

3月25日（木）17：30から栗山町役場3階会議室において、交通安全対策会議が開催されました。

冒頭、会長の大塚清康様から春に向かって急激に暖かくなっており、この季節は雪がなくなり道路も運転しやすい状況になっているが、交通事故が増加する季節でもある。栗山町として様々な施策をおこなっているが、コロナ対策に留意しながら実施していきたい旨のお話がありました。

春の全国交通安全運動は、4月6日（火）～15日（木）「交通事故死ゼロを目指す日」は、4月10日（土）となっております。

魅力づくり委員会に係る打合せ会議

3月25日（木）18：00から栗山町総合福祉センターしやるるで、魅力づくり委員会の三田委員長、井上副委員長、小樽商科大学の安宅教授、南條教育長、事務局2名と校長で、29日開催される魅力づくり委員会の打合せ会議を実施しました。

新入生オリエンテーション

3月30日（火）9：00～10：00に本校体育館において新入生のオリエンテーションがおこなわれました。

4月8日の入学式に向けた確認事項や各種諸届け等の伝達を入学予定者及び保護者へお伝えしました。

令和3年度を迎えて

4月を迎え、例年ですと余寒のある北海道も全道各地で、この時期の観測史上最高の気温が更新され、暖かい春の始まりとともに令和3年度がスタートしました。

今年度は、3名の教職員の皆様をお迎えし、新体制で学校の運営をすすめて参ります。

管理職	煙山 訓	教頭	松前高等学校より
教育職	門脇 敏彦	先生	石狩南高等学校より
事務職	山田 慎士	主任主事	滝川高等学校より

3名の職員におかれましては、1日も早く栗山高校に慣れいただき、生徒達のために全力を尽くしてご活躍していただけることを祈念しております。

また、現在採用の作業中ではありますが、事務室の人員拡充として会計職員の配置があります。後日、ご紹介することになりますが、事務室も3人体制として動いていくことになります。正式決定されましたら、改めて職員のご紹介をさせていただきます。

コロナ禍で教育機関も工夫や迅速な対応が求められる中、全教職員が心身共に健康で、生徒達に安心・安全な学校生活を送るために、私も含め教職員全員が生活基盤である家庭を守り、生徒の未来に向けて、良い方向に導いていくことが、この職責として大切なことであると思います。

今年度も様々な対応についてよろしくお願い申し上げ、年度初めのご挨拶とさせていただきます。